

# あなたも東京民研へ

東京民研部会紹介

部会名・代表者名

## 2016年度研究員募集

研究員を希望される方は、都教組の各支部・地区協にご連絡ください。

## 算数・数学

松尾 好樹

今あらためて習熟度別授業の問題が浮上しているように思われます。これは典型的な能力主義であることを解明する必要があります。学習指導要領の改訂の動向とあわせて、問題点と課題の研究をすすめていきたいと思しますので、ぜひ研究員になって、一緒に研究しましょう。

## 美術

久保田常子

授業での作品、写真、プリントを持ち寄り、互いの実践を交流し、教科観、子ども観を深めています。実技、評価、展覧会、道具の管理などすぐに役立つ情報交換も盛んです。教科書検討もしました。隅に追いやられている『感性教育』の大切さを語り合ひましょう。

## 国語

金田一清子

教材分析から授業づくり、実践報告まで現場の要望に基づき実施。「現場では時間が取れないのでありがたい。ここに来るとやる気が出る。役に立つ」等、若者に大好評です。本来子どもにつけたい学力とは、本質的な論議も盛んです。何が大切か迷いがちな今こそぜひ参加を。

## 社会科

坂爪 邦雄

今年中学校の教科書採択が行われ、また、小学校では新しい教科書が使用され始めました。部会では、「子どもたちによりよい教科書を」と願い、それぞれ教科書について学習をしました。これからも実践研究とともに、教科書の比較検討などに取り組みたいと思っています。

## 音楽

四谷 悦子

「学校に豊かな文化を」のテーマで、年2回公開授業と講座、部員の実践交流を行い学び合っています。作曲家・ピアニストを講師に迎えての公開授業では、豊かな音楽が子どもたちの内面に届き、いきいきと歌う姿を見ることができました。二月に公開授業の予定、ご参加ください。

## 外国語

福島 悦子

部会では、いろいろな先生が集まり、身近な人から世界の人々までつながれる力をどのようにつけていくか、熱く、かつ丁寧な話し合いや実践報告をしています。部会に参加すると悩みも軽くなり、元気になること間違いなしです。

お待ちしております。

## 理科

高鷹美恵子

今年度は、中学校の教科書を分野別、学年別に検討したり、物理学の基本的な考え方についての学習、文科省の学力テストの問題点の検討など、多様な学習を、小、中、高の部員ですることができました。部会は毎月第2木曜日、エデュカスの会議室です。参加お待ちしております。

## 技術科

内田 康彦

生物育成の授業内容も確定しないまま、タブレットの導入が始まり、必要とする新しいソフトがより多くなってきました。反面、ICTの操作はできるが生徒との関わり方を身につけられない先生も多く見かけます。教科教育法と教育手法の両面を追求していきたいと考えています。

## 家庭科

谷内 香子

部会に集まればかならず得ることがある、この点を大事にしています。今、子どもたちの生活や社会の環境はどうなっているのか、子どもは何を望んでいるのか…。自分の生活をみつめることから学習をスタートし、主権者として育まれる学びを広げられたらと考えています。

## 保健体育

岩崎 明美

今年も東京民研保健体育部会主催で水泳教室を行いました。息継ぎが苦手な方や長く泳げない方は、ドル平泳法で息継ぎやゆったり泳ぐことを学び、楽に泳げるようになります。泳げる方は、指導法を学びバタフライなどの近代泳法が泳げるようになります。ぜひ、来てください。

## 生活科

高鷹 敦

低学年は、自然や社会（人間）にはたらきかけ、肌で感じとりながら、発達する時期で、とりわけ認識や思考の土台を築いたり、感性を豊かにする上で重要です。この時期にどのような学習内容が必要か、どのような学習方法が適切か、ぜひ、一緒に考えていきましょう。

## 学校保健

佐々木弘子

平成28年から健康診断の項目が変わります。「座高」がなくなり、「四肢の状態」というのが入ります。内科検診ではとても検査できません。家庭での問診票をどうするか 具体的なことも決まっています。これから、東京教研などで議論していきたいと考えています。

## 進路指導

岩井 紀子

「子どものおかれた状況と子ども観、中学・高校の教育の現状」「高校入試制度と進路問題など、中等教育全般にわたる具体的な問題」を出し合って分析・討論を進めています。また、若い先生、高校生、大学生、一般市民の方の参加もあり、認識を深めあう場になっています。

## 幼年

岩瀬 尊子

幼年部会は、生活づくり・身体づくりを主な柱に、現場に密着した研究をすすめてきました。しかし、研究員の退職などで部会が十分持てなくなってきました。都教組幼稚園部とも協力して、研究を続けていきたいと思っています。研究員に応募される方大歓迎。お待ちしております。

## 障害児教育

杉山 敏夫

「特別支援教室」の導入によって従来の通級制の情緒障害学級の水準が保てない事態になります。すべての子どもたちに「居場所」としての学校を保障するために、改めて障害児教育の場での実践を深め、多くの人たちと交流・検討したいと、二カ月おきの部会を予定しています。

## 生活指導

津川 正洋

今年度「ゼロ・トレランスとの対抗軸を探る」を追求してきました。その最大の被害者は子どもです。教師や学校を憎悪し、教師を信頼せず、ルールに、従うふりをして、「問題を持つ、困った子」は排除され、閉じこもる。「正にシメない教育のすすめ」が必要です。

## 職場の民主化

西田 昭司

自由に意見が言える学校職場でなければ良い教育はできません。子どもたち一人一人が人間として成長することのできる教育を実現するためにどのような職場をつくっていくのか、どのような努力をしていかなければならないのか、そんなことを研究しています。

## 教育条件整備

山木 清孝

子どもたちにゆきとどいた教育を保障する教育条件整備は、学校にとって大きな課題です。本部会において、様々な角度から議論を深めていきたいと思えます。学校事務の「共同実施」など、毎回、興味深いテーマで開催しています。部員大募集中。お気軽にご参加ください。

## 学校給食

星名久美子

学校では様々な方法で食の指導が実施されています。学校給食部では、食の関わりを通して、子どもたちが成長した姿を明らかにした実践を1冊の本にまとめました。どのように子どもと向き合ったらよいか。子どもたちをとりまく食の環境等について語り合い、学びませんか。

## 地域・学校づくり

高木 勝正

個別の学校の事例や教科書採択にかかわる運動の報告から学んでいます。その中で子どもたちに本当に必要なことと地域の教育要求を結び、「人材育成」ではなく「人格の完成」をめざす教育を保障する学校づくりと地域を探っています。現場からの参加をお待ちしています。

## 平和教育

佐藤 康高

今年「戦後70年」。戦争加害の事実を学ぶ。を統一テーマに、4回の連続学習会を企画し、その内容は「子どもと生きる」で紹介しました。平和教育実践の教材・レポート・実践記録等、現場の役に立つ資料提供をできるように、部会の課題として取り組んでいます。

## 道徳（心の教育）

矢澤 正道

「修身は：国の一大事の際は天皇のために身を捧げるよう教えた。子どものころから徹底的にたたき込み、滅私奉公や忠君愛国の精神を植え付けた。それは戦争と一体だった。安保法制を強力に進めるため従順な主権者が必要」（東京新聞）「人格の完成を目指す教育」の学習を！

## ジェンダーと性の教育

天沼 文

部会は、毎月第4金曜日を原則に開いています。月によりテーマは異なりますが、毎回その時々職場や教育に関することを中心に意見交換をしています。また、ジェンダーの視点に立つての実践も高い、深めています。

広い意味での人権教育を考えています。

## 文化活動

磯崎 四郎

子どもを取り巻く文化的な環境は、ますます劣悪になっています。こうした中で子どもの人格もゆがめられ豊かな成長が阻害されています。読書、演劇、民舞、手づくりの活動など、豊かで文化的な活動を子どもとともに進めるために、一緒に取り組みませんか。

## 教育評価

阿原 成光

本来評価は励ましですが、現状は選別と管理のためになっています。現状の問題点を明かにして、子どもを生かす本来の評価の在り方を実践的に明らかにしたいです。関心のある方、参加を期待しています。

### 2015年度

### 東京民研・総括集会

新学習指導要領や道徳の「教科化」など、教育はますます大きな課題を抱えています。これらの課題に取り組むためにも、今年度の研究・実践の総括を皆さんで確認していきましょう。

**日時** 3月27日(日)  
午前・午後

**会場** エデュカス東京  
4階会議室